

「主体性」の育成②

地域に生きる
人材を育てる

グローバル化する社会で求められる「主体性」とはどのようなものか。

今号では、グローバル化社会の中での「ローカル」、すなわち「地域」に焦点を当てる。

人口減、高齢化、空洞化などから衰退への不安を抱える地域において、

主体的に生きるために必要な力とはどのようなものか。その力を育むための指導と共に考えたい。

グローバル化の中で
地域における人材育成を
教師はどう考えているか？

「世界に羽ばたく人材も必要だが、同時に地元にも貢献する人材も重要である。しかし、どちらにも視野の広さと柔軟な感受性が不可欠である。そのために高校教育にも更なる変化が必要だろう」(宮崎県)

「英語を学ぶことで日本語を見直すことが出来るように、世界について広く知ることを通して、自分の国や住んでいる地域を再認識することが大切である。そうして、より広い選択肢から自分の進路を選んでいけるような指導をしていきたい」(岐阜県)

「これからは、世界の中の日本という視点で物事を見ていかなければならない。授業などを通して、そうした視点の広がりが必要であることを生徒に伝えていきたい」(兵庫県)

出典：『VIEW21』高校版読者モニター1へのアンケート結果より。アンケートは2012年8月にWeb及び用紙の郵送により実施。回答はWebもしくはファクスで回収。有効回答数は71。

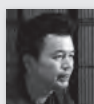
8月号で見てきた、社会の環境変化に立ち向かうために必要なこと
「主体性」の育成

本号のテーマ

グローバル化社会で、主体的に「地域に生きる」ために
 必要な力と、その力を育む指導とは？

1. 「地域に生きる」ために必要な力とは？ ▶ 3人の生き方から考える P.8～15

「世界から地域を見つめ、地域の本当の価値を再確認する経験が大切」
 イギリス ケンブリッジ大 在学 **岡本尚也**



「見過ごされていたものから、価値を見いだす力が求められる」
 味匠「焼っ川」専務取締役 **吉川真嗣**

「新たな価値を創る『グローバルマインド』こそ、地域には必要」
 NPO法人地域交流センター津屋崎ランチ代表 **山口 寛**



2. 「地域に生きる」人材を育むための指導とは？ ▶ 学校現場から考える P.16～19

「頑張った思い出をつくらせ、学び続ける力、知識を組み合わせる力を養う」
 北海道旭川東高校 **松井恵一**



「教師自身が視野を広げ、生徒の見いだした価値と真摯に向き合い、対話する」
 高知県立高知道手前高校 **杉山太夏子**

新しい価値観で地域を捉え、主体的に地域を創る生徒が育つ

2月号に向けて

- ◎ グローバル化社会において、主体的に「地域に生きる」人材に必要な力、その力を育む指導は、地域を越えてより広い世界に生きる人材に必要な力、指導と重なる部分もあるのではないかな？
- ◎ グローバル化する社会環境を積極的に利用することで、指導をより豊かなものに出来るのではないかな？

社会環境変化の中での「主体性」の育成を、4号連続で取り上げます

8月号

環境変化に立ち向かう
 「主体性」を育む

10月号

「主体性」の育成①
 (デジタル化)

12月号

本号

2月号

「主体性」の育成③
 (グローバル化)